

あわら市子ども・子育て会議録 第8回会議次第

- 1 日 時：平成28年3月17日(木) 19時30分～20時30分
- 2 場 所：あわら市役所 102会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員
森俊之委員(会長)、白越不朝委員(副会長)、浅野壽恵委員、
田川由佳代委員、谷川修一委員、木谷眞知子委員、伊藤しのぶ委員
 - (2) 事務局
《子育て支援課》
大代典子課長、近藤克巳課長補佐、中島綾一、井口清美
- 4 . 議題
 - (1) 平成27～28年度 各認定こども園定員及び入園児数について
 - (2) 子ども・子育て支援各事業の平成26年度実績及び平成27年度進捗状況
 - (3) 北潟こども園、芦原こども園の定員変更について
 - (4) 委員の公募について

5 . 決定事項

子ども・子育て支援の事業の中で、「延長保育事業」及び「地域子育て支援拠点事業」が平成27年度に減少している原因として、延長保育料が上がったこと、こども園での解放デーが増加し親子がこども園の方へ行った影響かと思われる。

・延長保育料の上限額がH26年度：2,000円 H27年度：8,000円

・各園の解放デーの回数や人数のデータを、子育て支援センターが把握しており、そういった情報も分析材料になるので提示していくことになった。平成28年度より、北潟こども園の入園児増加により、定員を5名増やし55名とし、芦原こども園定員を5名減らし、158名とすることで同意した。

委員の公募について、選定委員会の森会長より、1名が選定されてことを報告された。

会議の経過

- 事務局 定刻となりましたので、ただいまから、第8回あわら市子ども・子育て会議を開会いたします。

開会にあたり、森会長よりご挨拶をお願いいたします。

【森会長挨拶】

- 事務局 ありがとうございます。
ここからは森会長、議事進行よろしくをお願いします。
- 議長 では、会議次第に従って進めていきたいと思えます。
(会長) 平成 27～28 年度 各認定こども園定員及び入園児数について、事務局より説明してください。
- 事務局 【資料 1 P1～3、別紙 P1～3 に基づき説明】
- 議長 何か、ご意見・ご質問等はありませんか。
無い様ですが、後程ありましたらおっしゃって下さい。
続きまして、子ども・子育て支援各事業の平成 26 年度実績及び平成 27 年度進捗状況について、事務局より説明してください。
- 事務局 【資料 1 P4～7 に基づき説明】
- 議長 何か、ご意見・ご質問等はありませんか。
無い様ですが、後程ありましたらおっしゃって下さい。
続きまして、北潟こども園、芦原こども園の定員変更について、事務局より説明してください。
- 事務局 【資料 2 に基づき説明】
- 議長 何か、ご意見・ご質問等はありませんか。
- 議長 芦原こども園の 1 号認定を減らすことで影響はありませんか。
120%を超えてはいけないというのは、2 号、3 号だけですか。
- 事務局 そうです。2 号、3 号だけです。
- 議長 1 号認定の見込みに比べて認定者が減った理由は何か。
- 事務局 5 歳児のこども園料の無料という影響もあるのではないかと思う。
- 木谷委員 アンケートの段階の時といざという時と就労状況が変化し、働こうということになったのではないかと想像できる。
- 副会長 北潟こども園ですと、0 歳児が 150%の入園となっており、保育教諭に負担がかかるのではないかと。他のところへ目が回らないのではないかと。
- 木谷委員 国の基準で 0 歳児は、子ども 3 人に対し 1 人の保育教諭、1 歳児だと 6 対 1 の割合となっていて、その保育に手がかって他の子どもに負担がかかっているという事は、絶対に無いです。保育教諭を新たに採用したり、受け入れを見合わせています。
- 議長 そうなると、都会とはまた違った待機児童問題が発生する。
保育教諭確保は難しいですか。
- 木谷委員 大変難しいです。

- 議長 他に何かありませんか。
続まして、委員の公募についてですが私の方から説明させていただきます。本日、選考委員会において、公募要領に基づく慎重な審査・選考を行った結果、1名 女性の方を選定しました。
平成28年度の会議から参加して頂くことになります。
- 議長 その他として、事務局から何かありませんか。
- 事務局 報酬について連絡する。
- 議長 これをもちまして、第8回子ども・子育て会議を閉会いたします。
ありがとうございました。